令和 7年 9月18日

整理番号 0243

評価年度 令和 6年度

00261

2301 消防局消防総務課

評価完了 所属長名 吉村 紀男 進捗区分 記入者 山本 啓二 消防音楽隊事業

事務事業番号 【基本情報】

所属

【坐作用报】									
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画								
基本方針	003 安心、快適に住み網	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります							
基本政策	009 安心、安全に暮らる	すことのできるま	:ちにします						
施策	023 消防・救急体制の3	充実							
取組の方向性	001 消防力の充実								
事務事業	015 消防音楽隊事業								
運営方法	直営								
評価区分	対象	主な取組区分	対象外						
根拠法令等	大津市消防音楽隊規程								
事業概要	(事業概要) 消防音楽隊の活動を通して 防災まちづくりを推進する手 推進や防火・防災意識の高揚	法の一つとして							
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 防火防災に対する市民意識が高まる中、幅広い年齢層への効果的な広報活動が求められている。新型コロナウイルス感染症によるイベント制限が無くなり、演奏依頼が増加している。 (見直しや改善等の経過) コロナ禍前と同様の広報活動になるように取り組んでいる。								

【事業分析】

【サネカツ】	
対象(何又は誰を)	市民に対し
目的(何のために)	広報活動による防火・防災意識の高揚のために、
手段(どのようなやり方で)	消防音楽隊の演奏活動を通じて、
成果(どのような 状態にするのか)	安心、安全に暮らすことのできるまちづくりを推進するとともに湖都「大津」のイメージアップに貢献する。

【コスト】 (単位:千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
ータルコスト	4, 994	4, 988	5, 073	5, 232	5, 232	5, 232	5, 23
事業費	314	308	393	552	552	552	55
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	(
県支出金	0	0	0	0	0	0	(
地方債	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	
一般財源	314	308	393	552	552	552	55
人件費計	4, 680	4, 680	4, 680	4, 680	4, 680	4, 680	4, 68
事務・技術(人)	0. 60	0. 60	0. 60	0. 60	0.60	0. 60	0. 6
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
臨時(人)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 0
その他経費	0	0	0	0	0	0	

整理番号 0243

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 2301 消防局消防総務課 事務事業番号 00261 消防音楽隊事業

【関連予算情報】

	予算事業	予算事業番号	予算所属名称
	01-45-05-05-31-00-01-00	消防音楽隊事業費	消防局消防総務課
ſ			
Γ			

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 訓練回数	回	24. 00	24. 00	24. 00	24. 00	24. 00	24. 00	24. 00
	ᄪ	19. 00	15. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 演奏回数		15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00
	비	13. 00	17. 00	0. 00	0.00	0. 00	0.00	0. 00
(成果) 演奏実施率	%	100.00	100. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100. 00
	%	86. 67	113. 33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	\boldsymbol{A}
			D	妥当ではない	•
	評価理由	防火防災意識の啓発と市員	民に身	近な広報活動として効果的である。	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	\boldsymbol{A}
			D	上がっていない	<i>,</i> .
	評価理由	演奏回数は、目標値を超え	えてい	<u>ა</u>	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	\boldsymbol{A}
			D	効率的でない	<i>,</i> .
	評価理由	必要最小限の全体訓練で流	寅奏を	実施し、費用対効果を高めている。	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	\boldsymbol{A}
			D	貢献していない	<i>,</i> .
	評価理由	市民の防火防災意識の高掠	易に有る	効な手段である。	
	評価理由				

【所属評価結果】
総合評価
計画どおり事業を進めることが適当
事業の方向性
現状維持
コロナ禍が終わり、演奏依頼が増加しており、演奏回数は目標値を超えている。
今後も市民の付託に応えられるよう、訓練のあり方及び派遣内容や演奏方法等を検討しつつ、音楽を通じた広報活動として事業を継続していく。
所属コメント
(400文字)

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	音楽隊による広報活動は、幅広い年代にかつ効果的な消防広報活動を推進していく		効な方法である。今後も引き続き効率的

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 2301 消防局消防総務課

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 00261 消防音楽隊事業 上段:目標値 下段:実績値

事務事第	業番号 00261	消防	音楽隊事業	A 75- A 5- 4-	T ^	_ <u> </u>	A = - A = -	上段:目標値	下段:実績値
(活動)	指標名 訓練回数	単位	令和 5年度 24.00	<u> </u>	令和 7年度 24.00	令和 8年度 24.00	令和 9年度 24.00	令和10年度 24 00	令和11年度 24.00
(70 30)		回 15 1〒-V = B	19.00	15. 00	0.00	0.00	0.00	令和10年度 24.00 0.00	0. 00
		指標説明	音楽隊の訓練回						
活動)	演奏回数	回	15. 00 13. 00	15. 00 17. 00	15. 00 0. 00	15. 00 0. 00	15. 00 0. 00	15. 00 0. 00	15. 00 0. 00
		指標説明	音楽隊の出演演		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果)	演奏実施率		100 00	100 00	100 00	100 00	100 00	100 00	100 00
//////	从人人心 一	% ************************************	100.00 86.67	100.00 113.33	100.00	100.00	100.00 0.00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00
		指標説明	防火仏報沽動と	して年間の演奏日	目標回数に対する	美施举			
								•	
					1				
					<u> </u>			<u> </u>	
					7	1			
					<u>l</u>				
					I				
					<u>l</u>				
					I				
								•	
					<u> </u>				
			+		<u> </u>			T	
								<u> </u>	
		†							
					1			1	
P27P05	0		1		720				

整理番号 0244

評価年度 令和 6年度

評価完了 所属長名 吉村 紀男 進捗区分 2301 消防局消防総務課 山本 勝巳 所属 記入者

事務事業番号 00266 団員消防活動事業

【奉本情報】								
総合計画	03 大津市総合計画	第2期実行計画						
基本方針	003 安心、快適に住る	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります						
基本政策	009 安心、安全に暮	009 安心、安全に暮らすことのできるまちにします						
施策	021 災害に強いまち	づくりの推進						
取組の方向性	002 地域防災力の向.	Ŀ						
事務事業	006 団員消防活動事	006 団員消防活動事業						
運営方法	直営							
評価区分	対象	主な取組区分	対象外					
根拠法令等	消防団を中核とした地域の	が災力の充実強化に	関する法律					
事業概要		これらの災害に因	る被害を軽減する	ことをその任務と	呆護するとともに、水火災また しており、これらの消防団員の 坊団員の確保に努める。			
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し		預発化・広域化し、 地域防災力の充実強 5用するため、「予 5火・防災訓練など	化に関する法律」 備被服エコバンク の市民活動が再開	が施行され、市民(っ」制度を継続し、 引されたことにより、	訓練回数が増加した。			
【事業分析】								
対象(何又は誰を)	消防団員に対し							

_【事業分析】	
対象(何又は誰を)	消防団員に対し
目的(何のために)	市民生活の安心安全を確保するため
手段(どのようなやり方で)	消防団員の報酬と費用弁償及び消防団活動に必要な被服や消耗品等の支給と公務災害への身分保障により
成果(どのような 状態にするのか)	円滑な消防団活動を展開するとともに、継続的な消防団員の確保に繋がる。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータ	ルコスト	159, 941	128, 153	145, 994	131, 807	153, 248	131, 807	153, 248
事業	美費	153, 981	121, 473	139, 314	125, 127	146, 568	125, 127	146, 568
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	47, 172	15, 295	32, 572	17, 579	38, 485	17, 579	38, 485
	一般財源	106, 809	106, 178	106, 742	107, 548	108, 083	107, 548	108, 083
人件	+費計	5, 960	6, 680	6, 680	6, 680	6, 680	6, 680	6, 680
[事務・技術(人)	0. 60	0. 60	0. 60	0. 60	0. 60	0. 60	0. 60
	技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
[会計年度任用(人)	0. 40	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50
Ī	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
その)他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0244

評価年度 令和 6年度

6年度 進捗区分 評価完了

所属 2301 消防局消防総務課 事務事業番号 00266 団員消防活動事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-10-51-00-01-00	団員消防活動費	消防局消防総務課
01-45-05-10-51-00-05-00	団員報酬等費	消防局消防総務課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)消防団員定数	1	1, 313. 00	1, 313. 00	1, 313. 00	1, 313. 00	1, 313. 00	1, 313. 00	1, 313. 00
		1, 214. 00	1, 188. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0.00
(活動)訓練指導回数		62. 00	62. 00	62. 00	62. 00	62. 00	62. 00	62. 00
	回	89. 00	74. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0.00
(成果)充足率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	70	92. 46	90. 05	0.00	0. 00	0.00	0. 00	0. 00
(成果)訓練指導率	%	100. 00	100. 00	100.00	100. 00	100.00	100.00	100.00
	90	143. 55	119. 35	0.00	0. 00	0.00	0. 00	0. 00
【定性評価】								
評価項目 評価の観点					基準			評価
妥当性 実施主体又は手段は妥								Λ

_[定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{\vdash}$
			D	妥当ではない	
	評価理由	消防組織法で消防団員は市	ち町村(D規則で定めるよう明記され妥当	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ		やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	$\boldsymbol{\vdash}$
				上がっていない	
	評価理由	団員数確保は全国同様に業	隹しいキ	犬況だが、訓練指導は充実している	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	$\boldsymbol{\mathcal{A}}$
				効率的でない	•
	評価理由	消防団が住民指導を実施す	けること	とで地域防災力の向上につながる	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	$\boldsymbol{\mathcal{A}}$
			D	貢献していない	•
	評価理由	市民を災害から守る消防団	団員の引	鱼化は災害に強いまちづくりに貢献	
1	評価理由				

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	引き続き、コロナ禍以前に実施していた極的に推進していくほか、地域防災指導員進めていくことで、消防団を中核とした地消防団員数については、大津市消防出初により、消防団員の確保対策に努める。まるが、令和6年度中に消防団員の定年引上待される。	を中心として住民に対する訓 域防災力の充実強化を図る。 式や各地区での催しや訓練を た、大津市においても全国と	練指導や防火・防災に関する啓発などを 通じて、消防団員募集を呼びかけること 同様に、消防団員数は例年減少傾向にあ

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	地域防災力の向上のため、消防団が地域 このことから、継続して消防団員の確保 備し、消防団を中核とする地域防災力の一	を進めるとともに、安全で迅	速に消防団活動ができるよう環境等を整

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 2301 消防局消防総務課

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 00266 団員消防活動事業 上段:目標値 下段:実績値

事務事業番号 00266		当防活動事業 					上段:目標値	
指標名 (活動)消防団員定数	単位	令和 5年度 1,313.00	<u>令和 6年度</u> 1,313.00	<u>令和 7年度</u> 1,313.00	令和 8年度 1,313.00	令和 9年度 1,313.00	令和10年度 1,313.00	<u>令和11年度</u> 1,313.00
(Maj) Millerca	人	1, 214. 00	1, 188. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	消防団員定数を	目標とした団員係	雀保数				
(活動)訓練指導回数	回	62. 00 89. 00	62. 00 74. 00	62. 00 0. 00	62. 00 0. 00	62. 00 0. 00	62. 00 0. 00	62. 00 0. 00
	指標説明	消防団員によるす	市民への訓練指導	算件数		-	-	
(成果) 充足率		<u>令和5年度に新</u> 100.00	<u>型コロナウイルス</u> 100.00	くが5類感染症に 100.00	移行したことに任 100.00	<u>半い、目標値を平</u> 100.00	成30年度の実績 100.00	<u>責値とした</u> 100.00
()及本/ 九龙十	%	92. 46	90. 05	0.00	0.00	0.00	0. 00	0.00
	指標説明	条例定数に対する	る充足率					
(成果)訓練指導率	%	100. 00 143. 55	100. 00 119. 35	100. 00 0. 00	100.00 0.00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00
	指標説明		実績値である62		た場合の出動率		0.00	0.00
					<u> </u>	<u> </u>	1	
						l		
						I	T	
						<u> </u>		
					<u> </u>	<u> </u>	1	
							<u>1</u>	
					<u> </u>	I	-	
					<u> </u>	Ī	1	
					<u> </u>		<u>_</u>	
					<u> </u>	ı	1	
				<u> </u>	<u> </u>		<u>_</u>	
		 				 1	1	
					<u> </u>			
		 				ı	1	
							I	
					1			
0070050								
P27P050				722				

整理番号 0245

評価年度 令和 6年度

評価完了 所属長名 吉村 紀男 進捗区分 2301 消防局消防総務課 山本 勝巳 所属 記入者

事務事業番号 00268 団消防車両等整備事業

【基本情報】

【空平月刊】									
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画								
基本方針	003 安心、快適に住み	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります							
基本政策	009 安心、安全に暮ら	すことのできるま	ちにします						
施策	021 災害に強いまちづ	くりの推進							
取組の方向性	002 地域防災力の向上								
事務事業	008 団消防車両等整備	事業							
運営方法	直営								
評価区分	対象	主な取組区分	対象						
根拠法令等	消防力の整備指針								
事業概要	民の生命・身体及び財産を借り、市民生活の安心・安全を	呆護するとともに			害防ぎょ活動の強化を図り、市 これらによる被害の軽減によ				
(事業を取りまく社会環境) 近年、災害が激甚化・頻発化・広域化する中で、消防関係機関に寄せられる市民の期待は年々大きくなっている。 事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し 消防団車両等については、計画の実現性や費用対効果を考慮し、時代に即した改善に取り組んできた。 近年では、新免許区分に対応した普通免許区分で運転可能な消防ポンプ自動車の導入や地域性を考慮し、消防ポンプ自動車を小型ポンプ積載普通自動車に変更して更新するなどしている。									

17 A / 1 / 1 / 1	
対象(何又は誰を)	消防団車両等(消防ポンプ車、小型動力ポンプ積載車、小型動力ポンプ)について
目的(何のために)	市民の安心・安全な生活を確保するため
手段(どのようなやり方で)	更新と維持管理により
成果(どのような 状態にするのか)	消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図る。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
 -	タルコスト	3, 130	65, 037	78, 498	64, 393	57, 828	44, 028	
3	事業費	1, 570	63, 477	76, 938	62, 833	56, 268	42, 468	56, 268
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	58, 500	71, 200	45, 000	52, 200	38, 400	52, 200
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1, 570	4, 977	5, 738	17, 833	4, 068	4, 068	4, 068
Ιſ	人件費計	1, 560	1, 560	1, 560	1, 560	1, 560	1, 560	1, 560
	事務・技術(人)	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20
	技能労務 (人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
-	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0245

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 2301 消防局消防総務課 事務事業番号 00268 団消防車両等整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-10-61-00-01-00	団消防車両等整備費	消防局消防総務課

【定量評価】					-		上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)消防ポンプ車	4	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00
又は小型ポンプ積載車 の新規購入又は更新	台	2. 00	2. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 小型動力ポン	/	0.00	1. 00	0.00	1. 00	1. 00	1.00	1.00
プの新規購入又は更新	台	0. 00	1. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)消防分団数に	0/	100.00	100. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100. 00
対する消防ポンプ車等の実施率	%	100.00	100. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)小型ポンプの	0/	100.00	100. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100. 00
実施率	%	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	A
				妥当ではない	
	評価理由	大規模災害に備え、各学区	ヹへのタ	分団車両配備は妥当	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	_
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	\boldsymbol{A}
				上がっていない	, .
	評価理由	消防団車両を中心とした流	舌動に。	より地域防災力は向上している	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	\boldsymbol{A}
			D	効率的でない	
	評価理由	車両再編計画に基づき効率	軽的に]	更新している	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	A
			D	貢献していない	•
	評価理由	防災力の要である消防団車	車両等	更新は災害に強いまちづくりに直結	
	評価理由				

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	団車両等再編計画」に基づき、消防団と調 更新整備していく。	整を図り、現在配備している 台、小型ポンプ積載車1台に	ついては、部品供給不足などの要因によ

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	近年、激甚化・頻発化・広域化する災害		
	団車両等の更新整備については、地域防災		
	き、消防団と連携を図りながら、「大津市	「消防団車両等再編計画」に基	づき更新整備していく。
部局コメント			
(400文字)			

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

2301 消防局消防総務課 所属

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 00268 団消防車両等整備事業 上段:目標值 下段:実績値

指標名 (活動)消防ポンプ車	単位	令和 5年度	令和 6年度	<u> </u>	<u> </u>	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)消防ポンプ車 又は小型ポンプ積載車	台	2. 00 2. 00	2. 00 2. 00	2. 00 0. 00	2. 00 0. 00	2. 00 0. 00	2. 00 0. 00	2. 00 0. 00
の新規購入又は更新	指標説明			L 0.00 成車の新規購入又	は更新(債務負担)		0.00	0.00
(活動) 小型動力ポン プの新規購入又は更新	台	0.00 0.00	1.00 1.00	0. 00 0. 00	1. 00 0. 00	1.00 0.00	1. 00 0. 00	1. 00 0. 00
フの 初 祝 聃 八 又 は 更 初	指標説明	小型動力ポンプ	の新規購入又はす	<u>0.00</u> 更新	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)消防分団数に	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
対する消防ポンプ車等 の実施率	指標説明	100.00 「大津市消防団	100.00 車両等再編計画 I	0.00 に基づく消防分	0.00 つがある 10.00 つがった	0.00 ポンプ車の実施率	0.00	0. 00
(成果) 小型ポンプの		100.00	100.00	100.00		100.00	100.00	100.00
実施率	% +5.4m=¥.00	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	「大津市消防団	車両等再編計画」	に基つく小型ホ	:ンフの更新 			
	-							
	-					-	Ι	
							1	
				T	1			
			<u> </u>	<u> </u>				
	1							
	-							
	-						Г	
	<u></u>							
				l	I			
	 							
IP27P050								
172/7000				_725_				

整理番号 0246

評価年度 令和 6年度 所属

進捗区分 評価完了 所属長名 吉村 紀男 2301 消防局消防総務課 記入者 生田 和子

事務事業番号 02526 防火衣更新事業

【基本情報】

【基本情報】								
総合計画	03 大津市総合計画 第							
基本方針	003 安心、快適に住み約	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります						
基本政策	009 安心、安全に暮らす	けことのできるま	:ちにします					
施策	023 消防・救急体制の3	実						
取組の方向性	001 消防力の充実							
事務事業	014 防火衣更新事業							
運営方法	直営		•	-	-			
評価区分	対象	主な取組区分	対象外					
根拠法令等	大津市消防吏員の服制に関す	る規則、大津市	消防吏員の被服等の貸与し	こ関する規程	•			
事業概要	(事業概要) 平成26年から貸与していまた、総務省消防庁におい 更新されたことから、近年の 活動服を更新し、消防活動体	で、防火装備の 激甚化・頻発化	性能基準を示したガイド ・広域化する災害から活動	ラインが策定され	ており、令和4年4月に			
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 近年、建物の高気密化・高 火災性状の変化に伴い、総務 (見直しや改善等の経過) 防火衣は、令和5年度から 員分を更新する計画とした。	省消防庁におい	ても個人防火装備の性能	基準を示したガイ	ドラインが更新された。			

【事業分析】

【书未力勿】	
対象(何又は誰を)	総務省消防庁が示した個人防火装備のガイドラインに準じた防火衣及び活動服
目的(何のために)	あらゆる災害において活動する隊員の安全確保を図ることを目的とする。
手段(どのようなやり方で)	現場活動を行う可能性のある全職員分を、複数年度で計画的に更新する。
成果(どのような 状態にするのか)	近年の災害状況に対応した活動が可能となり、消防活動体制が強化される。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
\ -	タルコスト	36, 582	37, 575	38, 912	29, 170	9, 138	9, 319	9, 877
틕	事業費	31, 122	33, 675	35, 012	25, 270	5, 238	5, 419	5, 977
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	31, 122	33, 675	35, 012	25, 270	5, 238	5, 419	5, 977
	人件費計	5, 460	3, 900	3, 900	3, 900	3, 900	3, 900	3, 900
	事務・技術(人)	0. 70	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
7	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0246

評価年度 令和 6年度

所属 2301 消防局消防総務課 事務事業番号 02526 防火衣更新事業

進捗区分

評価完了

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-49-00-09-00	防火衣更新事業費	消防局消防総務課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)活動服更新数	着	90. 00	105. 00	102. 00	110.00	108. 00	113. 00	124. 00
	個	90. 00	110.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(活動)防火衣更新数	+	84. 00	84. 00	84. 00	52. 00	0.00	0.00	0. 00
	式	84. 00	84. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)活動服更新率	0/	100. 00	100. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100. 00
	%	100. 00	104. 76	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)防火衣更新率	0/	100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00
	%	100. 00	100. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00

	定性評価】 				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	\boldsymbol{A}
				妥当ではない	
	評価理由	活動隊員の安全に直結する	る事業で	であり妥当である	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	_
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	\boldsymbol{A}
			D	上がっていない	<i>,</i> ,
	評価理由	年次計画的な更新で、成界	見目標/	が達成できている	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	\boldsymbol{A}
				効率的でない	
	評価理由	現場対応職員を優先し、言	†画的	・効率的に更新できている	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	$\boldsymbol{\mathcal{A}}$
				貢献していない	
	評価理由	活動隊員の安全が確保され	ι、消಼	方体制の充実につながっている	
	評価理由				<u> </u>

【所属評価結果】
総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持 活動服及び防火衣は、現場で活動隊員の身を守る最も重要な装備であり、活動隊員の安全性を向上させることが、市民の安心・安全を守ることにつながる。 活動服は令和4年度から更新を始め、耐用年数が3年のため、今後も計画的に更新していく。 防火衣は令和5年度から現場対応職員を最優先に更新するとともに、年次計画的に全職員分を更新していく。

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民の安心・安全を確保するためにも、 を守ることが最も重要である。引き続き、		服により災害現場における活動隊員の身

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 2301 消防局消防総務課

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 02526 防火衣更新事業 上段:目標値 下段:実績値

事務事業番号 02526		衣更新事業					上段:目標値	
指標名 (活動)活動服更新数	単位	令和 5年度 90.00	<u> </u>	令和 7年度 102.00	令和 8年度 110.00	<u>令和 9年度</u> 108.00	令和10年度 113.00	令和11年度 124.00
(泊期) 泊期服史机效	着	90.00	110.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	全職員を3グル	ープに分け、毎年	₣1グループ分の	活動服を更新す	る。		
(活動)防火衣更新数		<u>※採用、退職職</u> 84.00	<u>員の増減による</u> 84.00	<u>1標値の修正</u> 84.00	52. 00	0.00	0.00	0.00
(石功) 例入以入物 3	式	84. 00	84. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	令和5年度から	年次計画的に全駅	戦員分を更新する	。令和5年度か	ら令和7年度の3	年間は、現場対応	芯職員を優先
(成果)活動服更新率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	<u>したため令和8年</u> 100.00	- 100.00	100.00
		100.00	104. 76	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	更新予定数に対	ずる更新率					
(成果)防火衣更新率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	100.00 更新予定数に対		0. 00	0. 00	0.00	0. 00	0.00
	1日1末0ル57	史机了足数に刈	9 る史利平					
						•		
			l	l	l			
			1	1	1	1		
							•	
			Ι	Ι	Ι	I	 	
		+					Ι	
			<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	1	<u> </u>	
			1	1	1	ı		
			I	I	I		ll.	
			I	I	I		<u> </u>	
		+	I	I	I			
		1						
		1					Ι	
		+	l	l	l		<u> </u>	
							Τ	
		†	ı	ı	ı	1	<u> </u>	
			T	T	T	T	 	
		1						
			-	-	-	-		
		1	1	1	1	1	 	
							<u> </u>	
						<u> </u>		
		+	ı	ı	ı	I	Г	
IP27P050								
/ / 000				720				

整理番号 0247

評価年度 令和 6年度

所属 2353 消防局予防課

 進捗区分
 評価完了
 所属長名
 小田 浩文

 方局予防課
 記入者
 武田 友紀子

事務事業番号 00224 自主防災組織等育成事業

基本情報】	

総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画							
基本方針	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります							
基本政策	009 安心、安全に暮らす	トことのできるま	ちにします					
施策	021 災害に強いまちづく	(りの推進						
取組の方向性	002 地域防災力の向上							
事務事業	004 自主防災組織等育成							
	その他							
評価区分	対象	主な取組区分	対象					
根拠法令等	災害対策基本法、消防組織法	、大津市災害等	対策基本条例					
	(事業概要) 大規模災害に対する事前の備えと被害の軽減を目指して、学区自主防災会・地域(自治会)自主防災組織・女性防火クラブ連合会等の防災に関連する団体の育成に係る補助を行い、組織の活性化及び災害対応能力を強化させることにより、地域防災力の向上を図る。							
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 各種災害が激甚化、頻発化、広域化の傾向にあり、市民の公助に対する期待が高まるなか、自助・共助にかかる防災意識の醸成が必要である。 (見直しや改善等の経過) 補助事業を効果的に活用いただけるよう、地域の要望等を踏まえ申請対象者や補助対象となる資器材の見直しを随時行っており、令和6年度からは学区自主防災組織活動補助金の拡充を行った。また、令和3年度からは、防災関係団体等の連携を図ることを目的に地域防災力連携強化会議の開催を推進している。							

【事業分析】

IP27P040

_【争耒ガ忻】	
対象(何又は誰を)	学区及び自治会の自主防災組織並びに女性防火クラブ連合会に対し
目的(何のために)	地震や土砂災害等の大規模災害時に被害の軽減を行うとともに、市民の生命を守り安心な生活を確保するため
手段(どのようなやり方で)	防火・防災資器材等をはじめとした、補助金の交付及び各種訓練指導を行い
成果(どのような 状態にするのか)	公助に頼ることなく、自分の身は自分で守り(自助)、自分たちのまちは自分たちで守る(共助)という考えから自主防災活動を通じて、災害発生時の被害軽減を図る。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
	ルコスト	58, 335	55, 167	57, 597	62, 597	62, 597	62, 597	62, 597
事	業費	4, 695	6, 047	6, 157	11, 157	11, 157	11, 157	11, 157
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	1, 500	1, 500	1, 500	1, 500
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1, 400	1, 590	0	2, 000	2, 000	2, 000	2, 000
	一般財源	3, 295	4, 457	6, 157	7, 657	7, 657	7, 657	7, 657
人化	牛費計	53, 640	49, 120	51, 440	51, 440	51, 440	51, 440	51, 440
	事務・技術(人)	6. 00	6. 00	6. 00	6. 00	6.00	6. 00	6. 00
	技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	1. 20	0. 40	0.80	0.80	0.80	0.80	0. 80
	会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そ(の他経費	0	0	0	0	0	0	0

評価完了

整理番号 0247

令和 6年度 評価年度

進捗区分 消防局予防課 2353

所属 事務事業番号 00224 自主防災組織等育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-41-00-03-00	自主防災組織等育成事業費	消防局消防総務課

【定量評価】					上段:目標値	下段:実績値		
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 学区自主防災組 織活動補助金利用数	組織	26. 00	26. 00	36.00	36.00	36.00	36.00	36. 00
献冶	不且不以	35. 00	36. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(活動)地域における防	0	20. 00	20. 00	20. 00	20.00	20.00	20. 00	20. 00
災関係者会議数	回	29. 00	23. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)学区自主防災組	0/	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100. 00
織訓練実施率	%	72. 22	83. 33	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)訓練1件あたり	ı	1. 50	1. 50	1. 50	1.50	1.50	1.50	1. 50
に占める防災士の活動 人数	^	2. 01	2. 79	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00

		•			•
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	A
			D	妥当ではない	, ,
	評価理由	地域における防災力向上の	りためる	本市の財政支援は妥当である。	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	_
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	A
			D	上がっていない	, ,
	評価理由	補助事業等が自主防災組織	敞の活情	性化と充実強化に有効である。	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	\boldsymbol{A}
				効率的でない	, .
	評価理由	補助事業により効率的に資	資器材 る	を整備することが可能である。	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	\boldsymbol{A}
			D	貢献していない	<i>,</i> .
	評価理由	補助事業やフォローアップ	プ研修	等により充実強化に貢献している	
	評価理由				

【所属評価結果】 総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持 学区及び地域の自主防災組織等への財政的支援により、自主的な防災活動を充実させ、自助、共助による地域 防災力を強化することにより、災害による被害を軽減させる防災体制を構築する。また、地域における防災関係 団体等について連携体制の構築を図るとともに市民主体による防災訓練を支援し地域防災力の向上を推進する。 所属コメント (400文字)

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	自主防災組織への財政支援を継続すると とした防災関係団体等による連携強化会議		

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 2353 消防局予防課

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画 事務事業番号 00224 自主防災組織等育成事業 上段:目標値 下段:実績値 令和 5年度 26.00 35.00
 令和 7年度
 令和 8年度
 令和 9年度

 36.00
 36.00
 36.00
 令和10年度 36.00 令和11年度 36.00 指標名 (活動)学区自主防災組 <u>令和 6年度</u> 26.00 単位 組織 36.00 0.00 0.00 織活動補助金利用数 0 00 0 00 0 00 指標説明 学区自主防災組活動補助金を利用した組織数(※令和6年度学区自主防災組織活動補助金の拡充に伴い指標を上 20.00 (活動)地域における防 20.00 20.00 20.00 20.00 20.00 20.00 回 災関係者会議数 29.00 23.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 地域における防災関係者の会議数(ブロック防災圏、学区連携強化会議) (<u>※令和5年度からは地域防災力充実強化事業の進展に伴い指標を上方修正</u> 100.00 指標説明 (成果)学区自主防災組 100.00 100.00 100.00 % 72. 22 83.33 0.00 0.00 0.00 織訓練実施率 0 00 0.00 指標説明 学区自主防災組織の訓練実施率 (成果)訓練1件あたり 1.50 1.50 1. 50 に占める防災士の活動 2.01 2.79 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 人数 指標説明 訓練1件あたりに占める防災士の活動人数(防災士の訓練参加人数/学区、地域訓練回数)

小田 浩文

事務事業評価シート(1/2)

整理番号 0248

評価年度 令和 6年度

02372

2353

評価完了 所属長名 進捗区分 消防局予防課

駒井 克哉 記入者 火災予防業務事業

事務事業番号 【基本情報】

所属

総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画							
基本方針	003 安心、快適に住み続	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります						
基本政策	009 安心、安全に暮らす	ことのできるま	ちにします					
施策	023 消防・救急体制の充	実						
取組の方向性	001 消防力の充実							
事務事業	005 火災予防業務事業							
	直営							
評価区分	対象	主な取組区分	対象外					
				<u> </u>				
	消防法、火災予防条例、火災	予防査察規程、	火災予防違反処理規程、火	災調査規程				
	(事業概要) 防火対象物や危険物施設に 物施設に関連する事故防止の もに実効性の高い訓練指導を	徹底を図る。ま	た、火災の出火原因や傾向					
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 市内の防火対象物数に大きな増減はないが、危険物施設数については減少傾向にある。火災件数は減少傾向にあるものの、住宅火災についてはここ 1 0 年間は横ばいで推移している。 (見直しや改善等の経過) 消防法令違反に対しては、適正に違反処理(行政指導、行政処分)を行い早期是正を促進するとともに、自主防火・防災管理体制の強化を推進している。また、発生した火災原因の傾向と対策を分析し、類似火災の防止対策に取り組み効果的かつ多様な火災予防啓発を進めている。							

_	AUL /	\ L	•
一里	幸ん	_> Th-	
·₩	未 ノ	1 471	

対象(何又は誰を)	防火対象物、危険物施設等の事業所及び住宅(市民)を対象として
目的(何のために)	防火対象物や危険物施設の火災及び事故発生要因の排除及び、住宅火災減少のために
手段(どのようなやり方で)	防火対象物及び危険物施設への立入検査を年間業務計画に基づき適正に行うとともに、住宅火災の出火原因や 傾向を分析し効果的な広報や市民主体による実効性のある訓練指導を行うことにより
成果(どのような 状態にするのか)	防火対象物及び危険物施設に対して消防法令違反を是正し、防火・防災対策の向上を図るとともに、類似火災 や住宅火災の発生を防止することで安心・安全に暮らすことのできるまちづくりの実現を図る。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	•	225, 248	220, 867	209, 484	210, 420	210, 420	210, 420	210, 420
事業費		1, 880	2, 097	2, 044	2, 980	2, 980	2, 980	2, 980
国庫支出	出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	È	0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源	京	1, 880	2, 097	2, 044	2, 980	2, 980	2, 980	2, 980
人件費計		223, 368	218, 770	207, 440	207, 440	207, 440	207, 440	207, 440
事務・お	支術 (人)	27. 76	27. 75	26.00	26.00	26.00	26.00	26. 00
技能労務	务(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用	(人)	1. 20	0. 40	0.80	0.80	0.80	0.80	0. 80
会計年度	€任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(丿	()	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(丿	()	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

評価完了

整理番号 0248

評価年度 令和 6年度 進捗区分

所属 2353 消防局予防課 事務事業番号 02372 火災予防業務事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-41-00-05-00	火災予防業務費	消防局消防総務課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)防火対象物等の 立入検査数		2, 200. 00	2, 200. 00	1, 200. 00	1, 200. 00	1, 200. 00	1, 200. 00	1, 200. 00
立八快直致		2, 534. 00	2, 341. 00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 00
(活動)施設及び設備等	<i>I</i> #-	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00
を活用した専門性の高 い火災原因調査件数	件	33. 00	34. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)立入検査の指摘 事項に対する是正数	件	3, 000. 00	3, 000. 00	1, 600. 00	1, 600. 00	1, 600. 00	1, 600. 00	1, 600. 00
争項に対する定正数	111	3, 258. 00	3, 136. 00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 00
(成果)製品火災の原因	%	90. 00	90. 00	90.00	90. 00	90.00	90.00	90. 00
判定率	90	97. 56	100. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	\boldsymbol{A}
			D	妥当ではない	
	評価理由	出火防止、安全対策の指導	算にかれ	かる事業主体、手段は妥当である。	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	\mathbf{A}
			D	上がっていない	, ·
	評価理由	安心、安全に暮らすことの	りでき	るまちづくりに寄与している。	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	\mathbf{A}
			D	効率的でない	, · ·
	評価理由	社会情勢を見極めて適正な	かつ効薬	率的な実施方法に努めている。	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	\boldsymbol{A}
			D	貢献していない	•
	評価理由	予防対策の充実強化に努め	ってい	ა .	
1					
	評価理由		-		

【所属評価結果】
総合評価

計画どおり事業を進めることが適当

事業の方向性

現状維持

防火対象物及び危険物施設に係る防火・防災について安全性を向上させるため、消防法令違反に対する是正指導が行える組織体制の確立に努める。来年度以降は、火災危険等を総合的に評価し優先順位をつけるとともに、査察計画を随時見直し、質の高い立入検査と効率的・効果的な是正指導を実施していく。また、自主防火・防災管理体制の強化を図り、事業所等における持続可能な出火防止及び事故防止対策を推進する。火災の原因調査については、高度な分析機器等を有効に活用して鑑識及び燃焼実験を行い出火原因の究明に努める。また、その調査結果を活用して積極的に効果的な広報活動を実施し類似火災の発生防止を図る。

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
			化が図られるよう引き続き適正に指導等
	を行い施設利用者等の安全確保を推進して		
	また、効果的な火災予防啓発を展開し、住	[宅火災防止対策の徹底を図り	、安心・安全に暮らすことのできるまち
部局コメント	づくりを推進していく。		
(400文字)			

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

2353 消防局予防課 所属

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 02372 火災予防業務事業 上段:目標值 下段:実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)防火対象物等の	回	2, 200. 00	2, 200. 00	1, 200. 00	1, 200. 00	1, 200. 00	1, 200. 00	1, 200. 00
立入検査数	指標説明	2,534.00		0.00		0.00	0.00	0.00
	伯保机功	防火刈豕物、厄	映物施設の立入的 焓杏を実施Ⅰ. さ	R住奴を訂工。市 よに消防業務の	和7年度以降は、 効率化並びにスリ	火火ル陝寺で計 リム化を図るため	・1回し懓充順位を 0日樗値を見直 I.(フけるととも 修正した。
(活動)施設及び設備等	件	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00
を活用した専門性の高 い火災原因調査件数	'' 指標説明	33.00	34.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
い欠火原囚嗣宜件数	拍标就明	他設及ひ設備寺・	を活用した専門性	Eの高い火災原因	調査件数(鑑識、	歮正、 燃焼美糖	₹)	
(成果)立入検査の指摘	件	3, 000. 00	3, 000. 00	1, 600. 00	1, 600. 00		1, 600. 00	
尹垻 〜 刈り る定止数	'' 指標説明	3, 258. 00	3, 136. 00	0.00	0.00 数には改修報告担	0.00	0.00	0.00
	伯保机功	丛入快宜の指摘・	事頃に対する走り <u>象物の立入検査数</u>	- 剱を訂工(定止 かの日煙値見直 I.	.剱には以修報古! .に伴い修正した。	定田剱を召む)。	节和 / 年度以降(の日信他につ
(成果)製品火災の原因	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
刊疋平	指標説明	97.56	100.00	0.00	0.00	0. 00	0.00	0. 00
	1日1宗武功	製品欠火の原因・	判定率を計上(作	F数は早両欠火の	(9へ(を含む)			
		 			l			
		<u> </u>						
							l	
					I		1	
					1			
						1	ı	
							ı	
		_	_		_		_	
		 					Ī	
		<u> </u>					I	
		1						
1								
		1						
IP27P050	1	1		_7//_				
			_	_ ////				

整理番号 0249

評価年度 令和 6年度

00278

評価年度 节和 6年度 進捗区分 評価 所属 2354 消防局警防課

 進捗区分
 評価完了
 所属長名
 中邑
 康高

 消防局警防課
 記入者
 山中
 創

 消防車両等整備事業

事務事業番号 【基本情報】

【埜平用報】								
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画							
基本方針	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります							
基本政策	009 安心、安全に暮らす	ことのできるま	ちにします					
施策	023 消防・救急体制の充	定実						
取組の方向性	001 消防力の充実							
事務事業	008 消防車両等整備事業	ŧ						
運営方法	直営				•			
評価区分	対象	主な取組区分	対象					
根拠法令等	消防組織法 消防	 法	消防力の整備指針		•			
事業概要	(事業概要) 激甚化、頻発化、広域化す 防用機械器具等の更新、並び 画的に車両及び車両に積載す	に修繕・整備が	不可欠となる。このことか	ら消防車両等整	備計画に基づき、年次計			
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 激甚化、頻発化、広域化す また、救急件数の増加、救急 (見直しや改善等の経過) 災害の様態を考慮した車両 とで、効率的な維持管理に努	業務の高度化な 設計や更新計画	ど市民のニーズは増大して	いる。				

-	-114		-	•	
二里	¥	~	ᄍ	1	

【サネカカオ	
対象(何又は誰を)	消防・救急車両及び積載消防用機械器具等を
目的(何のために)	激甚化、頻発化、広域化する災害に迅速かつ的確に対応するために
手段(どのようなやり方で)	年次計画に基づき更新及び大規模な修繕整備を行い
成果(どのような 状態にするのか)	災害現場において、迅速・確実に、かつ最大限にその能力を発揮させ、災害による被害の軽減を目指す。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータ	ルコスト	464, 150	254, 048	109, 214	83, 036	114, 900	118, 900	256, 900
事	業費	460, 250	250, 148	105, 314	79, 136	111, 000	115, 000	253, 000
	国庫支出金	77, 022	0	18, 966	13, 433	4, 460	0	69, 620
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	193, 100	230, 166	73, 700	12, 000	90, 600	91, 400	159, 300
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	190, 128	19, 982	12, 648	53, 703	15, 940	23, 600	24, 080
人们	牛費計	3, 900	3, 900	3, 900	3, 900	3, 900	3, 900	3, 900
	事務・技術(人)	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
そ(の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0249

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 2354 消防局警防課 事務事業番号 00278 消防車両等整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-26-00-01-00	消防車両等整備費	消防局消防総務課

【定量評価】		•		•	•		上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)消防・救急車	4	6. 00	4. 00	4. 00	1. 00	4. 00	4. 00	1. 00
両更新台数(消防車、 救急車)	台	6. 00	4. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)消防・救急車	0/	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
両更新計画に基づく更 新実施率	%	100. 00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00

【定性評価】 評価項目 評価の観点 基準 評価 妥当性 実施主体又は手段は妥 妥当である ほぼ妥当である 当か В あまり妥当ではない 妥当ではない D 評価理由 車両更新計画と実情に応じ て更新している 有効性 事業分析の「成果」欄 上がっている <u>やや上がっている</u> に記載の成果は上がっ В ているか С あまり上がっていない D 上がっていない 車両の更新及び維持管理により成果が上がっている 評価理由 効率性 事業手法は効率的であ 効率的である Α るか やや効率的である В С あまり効率的でない D 効率的でない 改善点を見つけた上で効率的に事業推進できている 評価理由 施策への貢献度 施策目標の達成に貢献 貢献している Α しているか В やや貢献している あまり貢献していない С D 貢献していない 評価理由 計画的で実情を考慮した更新整備により目標達成に貢献している 評価理由

【所属評価結果】
総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持 車両については、車両整備計画に基づき実情に応じて効果的に更新する。車両、資器材の更新時には、コストや必要性を見極めて仕様書を作成する。また、災害対応能力を維持できるようメンテナンスを継続する。

所属コメント
(400文字)

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	災害対応力を維持するには、車両等の更		
	を進めていく。また、地域の特性を踏まえ	.、効率的、効果的な車両運用	に努め、災害対応に支障のないよう、維
	持管理のための整備を徹底していく。		
部局コメント			
(400文字)			

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 2354 消防局警防課

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 00278 消防車両等整備事業 上段:目標値 下段:実績値

事務事業番号 002/8		P 四寺登備事業					上段:日標個	下段: 美額個
指標名 (活動)消防・救急車	単位	令和 5年度 6.00	<u> </u>	令和 7年度 4.00	令和 8年度 1.00	<u>令和 9年度</u> 4.00	令和10年度 4.00	令和11年度 1.00
而更新台数(消防車、 一	台	6.00	4. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
救急車)	指標説明	消防・救急車両	更新計画に基づく	更新台数				
(成果)消防・救急車		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
両更新計画に基づく更	%	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
新実施率	指標説明		更新計画に基づく	(更新台数の成果	率。(部品不足等	の納期延長に伴	う繰越措置を含む)
				1	1			
				I				
				T	1		1	
				<u> </u>			I	
				1	1			
							•	
				1				
				•			•	
				I			Т	
		<u> </u>						
	-			Ι	<u> </u>		ı	
		<u> </u>						
				I				
				I				
				I				
	1							
		1						
				<u> </u>				
				l	<u> </u>			
				l				
								<u></u>
				l	l			
								<u></u>
		+		l	<u> </u>			
								<u></u>
				l	l			
		<u> </u>						
IP27P050				747				

整理番号 0250

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 2354 消防局警防課 所属

所属長名 中邑 康高 記入者 近澤 昌二

事務事業番号 00279 消防水利施設整備事業

【基本情報】	
--------	--

【本个用刊】								
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画							
基本方針	003 安心、快適に住み	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります						
基本政策	009 安心、安全に暮らる	すことのできるま	ちにします					
施策	023 消防・救急体制の3	充実						
取組の方向性	001 消防力の充実							
事務事業	006 消防水利施設整備	事業						
運営方法	直営							
評価区分	対象	主な取組区分	対象					
根拠法令等	消防組織法消防	法	消防水利の基準					
事業概要	(事業概要) 火災発生時の消火活動を円滑に行うため、また、大規模災害に伴う火災発生時の消防水利確保のため、消火栓及び耐震性貯水槽等、消防水利施設の整備を行う。							
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し								

重	芈	厶	ᄠ	٦

【デネカカオ	
対象(何又は誰を)	消火栓及び、耐震性貯水槽等の消防水利施設を
目的(何のために)	火災発生時の消火活動を円滑に行うため、また大規模災害に伴う火災発生時の消防水利確保のため
手段(どのようなやり方で)	消火栓については、水道配管の新設や維持管理に併せて設置及び修繕を行い、耐震性貯水槽については、大規模な火災に繋がる危険性が高い地域を捉えて整備し
成果(どのような 状態にするのか)	火災発生時における被害の軽減を図る。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータ	ルコスト	58, 041	48, 483	48, 453	72, 471	61, 471	62, 971	45, 471
事美	業費	54, 141	44, 583	44, 553	68, 571	57, 571	59, 071	41, 571
	国庫支出金	0	0	0	3, 996	3, 996	3, 996	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	5, 133	1, 500	20, 704	10, 800	13, 500	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	54, 141	39, 450	43, 053	43, 871	42, 775	41, 575	41, 571
人作	牛費計	3, 900	3, 900	3, 900	3, 900	3, 900	3, 900	3, 900
	事務・技術(人)	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
その	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0250

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 2354 消防局警防課 事務事業番号 00279 消防水利施設整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-15-66-00-01-00	消防水利施設整備費	消防局消防総務課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 耐震性貯水槽 の整備数(目標値隔年	基	0. 00	1. 00	0.00	1.00	0.00	1. 00	0. 00
1基)	举	0. 00	1. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 耐震性貯水槽 設置数	基	0. 00	79. 00	79. 00	80.00	81.00	82. 00	82. 00
改旦奴		78. 00	79. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

[定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	\boldsymbol{A}
				妥当ではない	
	評価理由	火災発生時の水利確保の力	こめ整何	備を推進することは妥当である <pre></pre>	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	_
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	\boldsymbol{A}
				上がっていない	, .
	評価理由	消火栓と耐震性貯水槽の整	整備に。	より消防水利の充実が図れている	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	lacksquare
				効率的でない	
	評価理由	調査設計と設置工事を隔壁	∓で行∪	い計画的に整備できている	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	lacksquare
				貢献していない	, ,
	評価理由	火災発生時の消火体制が研	雀保で:	き市民の安心安全に繋がっている	
1					
	評価理由		·		

【所属評価結果】
総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持 ホ造の建築物が多く大規模な火災に繋がる危険性の高い地域において、火災発生時に有効となる設置場所を検討及び調査し、計画的に耐震性貯水槽の整備を行っていくとともに、水道配管の新設や維持管理に併せて消火栓の設置及び修繕を行い、消防水利の充実を図っていく。

所属コメント
(400文字)

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	耐震性貯水槽の整備については、大規模 推進していく。	災害に繋がる危険性の高い地	域から可能な限り選定し、計画に基づき

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 2354 消防局警防課

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画 1 基) 00279 指標名 (活動) 耐震性貯水槽 の整備数 (目標値隔年 1 基) 事務事業番号 00279 消防水利施設整備事業 上段:目標値 下段:実績値 令和 7年度 0.00 <u>令和 8年度</u> 1.00 令和 5年度 0.00 令和 9年度 0.00 令和10年度 1.00 <u>令和11年度</u> 0.00 <u>令和 6年度</u> 1.00 単位 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 1.00 0.00 指標説明 耐震性貯水槽の整備数(隔年ごとに設置) <u>※令和9年度の整備は耐震性貯水槽整備計画に基づく整備とは別で、</u> _0.00 | 79.00 | 79.00 | 80.00 | 道路事業に伴う水槽移転による整備 81.00 82.00 0.00 0.00 (成果) 耐震性貯水槽 82.00 基 78.00 <u>79. 0</u>0 設置数 0.00 0.00 0.00 指標説明 昭和59年度以降、消防局が整備した耐震性貯水槽の設置数

整理番号 0251

評価年度 令和 6年度

所属 2354 消防局警防認

00282

消防局警防課 特殊災害活動体制整備事業

評価完了

進捗区分

所属長名中邑康高記入者下田明夫

事務事業番号 【基本情報】

【本个用報】							
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画						
基本方針	003 安心、快適に住み続	売けることのでき	る活力のあるまちを創りま	きす			
基本政策	009 安心、安全に暮らす	トことのできるま	ちにします				
施策	023 消防・救急体制の充	主美					
取組の方向性	001 消防力の充実						
事務事業	010 特殊災害活動体制整	を備事業					
運営方法	直営		•	<u>.</u>			
評価区分	対象	主な取組区分	対象				
2							
根拠法令等	消防法消防	組織法	消防力の整備指針	1	•		
	(事業概要)						
	大規模自然災害をはじめ、	山岳救助事故、	水難救助事故などの特殊災	害に的確に対応	できる人材を育成するた		
	め、訓練環境等の整備を行い	、災害対応体制	を強化するもの。				
	The state of the s						
事業概要							
	(事業を取りまく社会環境)						
	生活様式や余暇活動の多様	化等により、山	兵 水難救助事故が増加す	ることに加え	自然災害も頻発しており		
	、この分野に的確に対応でき			0 C C 1 C // C (
事業を取りまく社会	(見直しや改善等の経過)	心脉 异07月1%10	3,0000				
事来で取りよく社会 環境とこれまでの見直し	事案の多様化に伴い、活動	理倍± タ样ル	ている由 あらゆる巛宝に	的確に対応する	ため OITわめ部研修		
深元ここれよくの元担し	派遣、現地訓練、災害対応資			ロンH圧 I ~ > 1 小い ソ 〇			
	 	1成171 定開守で11	J C C 12.0				

Ţ	事	業	分	析	1

対象(何又は誰を)	救助隊員をはじめ、消防局職員に対し
目的(何のために)	大規模自然災害や水難・山岳救助事案などの災害による活動体制の整備と、災害による被害を軽減するために
手段(どのようなやり方で)	年間訓練計画に基づき、実践的な訓練を実施することによって
成果(どのような 状態にするのか)	これらの災害に安全・的確・迅速に対応できる人材を育成し、市民の安心・安全な暮らしを確保する。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
7	タルコスト	180, 944	181, 160	181, 316	181, 635	181, 434	181, 635	181, 434
事	事業費	1, 544	1, 760	1, 916	2, 235	2, 034	2, 235	2, 034
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1, 544	1, 760	1, 916	2, 235	2, 034	2, 235	2, 034
ノ	(件費計	179, 400	179, 400	179, 400	179, 400	179, 400	179, 400	179, 400
	事務・技術(人)	23. 00	23. 00	23.00	23. 00	23.00	23. 00	23. 00
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
7	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0251

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 2354 消防局警防課

事務事業番号 00282 特殊災害活動体制整備事業

【関連予算情報】

	予算事業	予算事業番号	予算所属名称
ſ	01-45-05-05-38-00-01-00	特殊災害活動体制整備事業費	消防局消防総務課
ſ			
Г			

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)救助隊定期訓練 回数	0	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00
凹奴	I	12. 00	4. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00
(活動)水難救助訓練回	0	10. 00	10. 00	10.00	10.00	10.00	10. 00	10. 00
数 	Ш	10. 00	5. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00
(成果)救助隊定期訓練 実施率	%	100. 00	100. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
关.心 平	70	100. 00	33. 33	0.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00
(成果)水難救助訓練実	%	100. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
施率	70	100. 00	50. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
【定性評価】								

【定性評価】 評価項目	評価の観点		基準	評価
妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
	当か	В	ほぼ妥当である	\neg
1		С	あまり妥当ではない	\neg \boldsymbol{A}
		D	妥当ではない	
評価理由	危険と隣り合わせとなる	持殊環:	境での活動	
有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
	に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	
2	ているか	С	あまり上がっていない	
		D	上がっていない	
評価理由	年間計画に基づく訓練回	数の不	Ē	
効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
	るか	В	やや効率的である	\ \
3		С	あまり効率的でない	\neg \boldsymbol{A}
		D	効率的でない	
評価理由	年間計画に基づき実践的を	な訓練	- を実施	
施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
	しているか	В	やや貢献している	^
4		С	あまり貢献していない	\neg \boldsymbol{A}
		D	貢献していない	
評価理由	特殊災害への備えは市民の	の安心	· 安全に繋がる	
評価理由		•	•	

【所属評価結果】
総合評価
計画どおり事業を進めることが適当
事業の方向性
現状維持
訓練時における安全管理体制の見直しや再発防止対策に取組み、指標に掲げる訓練回数の目標値を達成できなかった。安全管理体制や訓練内容を見直したなか訓練を計画し、大規模自然災害をはじめ、山岳事故、水難事故にも即応し、安全な活動及び次世代を見据えた隊員の育成も見据えて訓練を実施していく。
所属コメント
(400文字)

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	大規模自然災害をはじめ、山岳事故、水	(難事故に即応するためには、	人材育成及び次世代を見据えた観点から
	、計画的に隊員の育成を行う必要がある。	安全管理体制の充実強化を図	り、効果的な教育や研修、訓練を実施し
	ていく。		
部局コメント			
(400文字)			

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

消防局警防課 2354 所属

大津市総合計画 第2期実行計画 特殊災害活動体制整備事業 総合計画 03

00282 上段·日標值 下段·軍績値

事務事業番号 00282		災害活動体制整備		1 A 4- 3 4- 4-		^1- ^	上段:目標値	下段:実績値
指標名 (活動)救助隊定期訓練	単位回	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	令和 8年度 12.00	<u>令和 9年度</u> 12.00	令和10年度 12.00	令和11年度 12.00
回数	^凹 指標説明	12.00 救助隊定期訓練	4.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00	0.00
	1日1本のパップ							
(活動)水難救助訓練回 数	回	10. 00 10. 00	10. 00 5. 00	10. 00 0. 00	10. 00 0. 00	10. 00 0. 00	10. 00 0. 00	10. 00 0. 00
	指標説明	水難救助訓練の					•	
(成果) 救助隊定期訓練	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
実施率	指標説明	100.00 救助隊定期訓練(33.33 の「訓練実施率」	0.00 「単位:%」	0.00	0. 00	0.00	0.00
(成果)水難救助訓練実		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
施率	%	100.00	50.00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0.00
	指標説明	水難救助訓練の	「実施率」「単位	立:%」				
				<u>I</u>	<u> </u>			
				I				
				Į.				
				I				
				7	, ,	ī		
				ı	T			
				l				
				I				
							•	
	-							
		<u> </u>		I	 	1	ı	
				<u> </u>	<u> </u>			
					 		1	
		<u> 1 </u>						
			<u> </u>	<u> </u>				
				l	 		Т	
IP27P050				750				

令和 7年 9月18日

整理番号 0252

評価年度 令和 6年度

令和 6年度 進 2354 消防局警

進捗区分 評価完了 消防局警防課

(見直しや改善等の経過)

02 十进士松春計画 第2期宝年計画

所属長名中邑康高記入者近澤昌二

事務事業番号 00284 消防救助業務事業

	【基本情報】
Г	終合計画 しゅうしゅう

所属

総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画
基本方針	│ 003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
基本政策	009 安心、安全に暮らすことのできるまちにします
施策	023 消防・救急体制の充実
取組の方向性	001 消防力の充実
事務事業	011 消防救助業務事業
運営方法	直営
評価区分	対象 主な取組区分 対象
根拠法令等	消防組織法 消防法
事業概要	(事業概要) 火災をはじめ、各種災害に迅速かつ的確に対応するため、各部隊の災害対応訓練を実施することにより部隊活 動体制の強化を図り、市民の生命、身体及び財産を各種災害から保護する。
	(事業を取りまく社会環境) 近年、火災はもとより地震、洪水、土砂災害などの自然災害が頻発している。

【事業分析】

事業を取りまく社会

環境とこれまでの見直し

【争耒分析】	
対象(何又は誰を)	消防・救助資機材と各部隊を
目的(何のために)	各種災害に対応し、被害を最小限に留めるために
手段(どのようなやり方で)	年次計画的に資機材を整備し、各隊の連携を強化することにより
成果(どのような 状態にするのか)	災害対応力の向上を図る

訓練を実施している。また、複数隊合同の連携訓練も計画的に実施している。

特別消火隊員を南消防署に配備し、火災発生時における人命救助と被害軽減を図るため、各隊が消火隊の教育

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
\ -	タルコスト	1, 008, 705	1, 011, 270	1, 042, 258	1, 042, 826	1, 042, 826	1, 042, 826	1, 042, 826
틕	事業費	3, 213	3, 260	3, 318	3, 886	3, 886	3, 886	3, 886
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	3, 213	3, 260	3, 318	3, 886	3, 886	3, 886	3, 886
	し件費計 アスティー	1, 005, 492	1, 008, 010	1, 038, 940	1, 038, 940	1, 038, 940	1, 038, 940	1, 038, 940
	事務・技術(人)	125. 84	127. 15	132. 90	132. 90	132. 90	132. 90	132. 90
	技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	4. 20	2. 80	0. 40	0.40	0.40	0.40	0. 40
	会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

評価完了

整理番号 0252

評価年度 令和 6年度 進捗区分

所属 2354 消防局警防課 事務事業番号 00284 消防救助業務事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-49-00-04-00	消防救助業務費	消防局消防総務課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 4 署 2 分署での 年間訓練実施回数(目	回	2, 190. 00	2, 190. 00	2, 190. 00	2, 190. 00	2, 190. 00	2, 190. 00	2, 190. 00
標1回/1日)	ഥ	2, 203. 00	1, 650. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 4署2分署での	0/	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
年間訓練実施率(基準 1回/1日)	%	100. 59	75. 34	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

	定性評価】				•
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	\boldsymbol{A}
				妥当ではない	
	評価理由	消防機関として資器材装値	睛の整体	備と部隊活動の強化は妥当である	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ		やや上がっている	
2		ているか		あまり上がっていない	
				上がっていない	
	評価理由				
	効率性	事業手法は効率的であ		効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	$\boldsymbol{\mathcal{A}}$
				効率的でない	
	評価理由		ける部		
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	\boldsymbol{A}
				貢献していない	
	評価理由	資器材整備と活動技術向」	Lによ!	り消防力の充実に貢献できている	
	評価理由				

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	火災をはじめとする各種災害に対応する びに安全管理体制を充実させ、災害対応能		

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

2354 消防局警防課 所属

大津市総合計画 第2期実行計画 総合計画 03

事務事業番号 上段:目標值 下段:実績値 00284 消防救助業務事業

事務事業番号 00284 		拟 切	A A	A	A A +	A A	上段:日標個	
指標名 (活動) 4 署 2 分署での	単位	令和 5年度 2,190.00	<u>令和 6年度</u> 2,190.00	<u> </u>	<u> </u>	<u>令和 9年度</u> 2,190.00	令和10年度 2,190.00	<u>令和11年度</u> 2, 190.00
年間訓練実施回数(目標1回/1日)	回	2, 203. 00	1, 650. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
漂1回/1日)	指標説明	現場活動能力の	句上を図るため <i>0</i>	D訓練実施回数(〔目標値:各署 1 Ⅰ	3 1 回以上、FW訓	練入力分で抽出)	
(成果) 4署2分署での	0.4	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
F間訓練実施率(基準 -	%	100. 59	75. 34	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
回/1日)	指標説明	訓練実施回数達	戓率(基準値: 名	S署1日1回、FW	訓練入力分で抽り	出)		
					ı			
					l .		Į.	
				T	ı			
							•	
		<u> </u>					Т	
		+						
		+						
		1						
	<u> </u>						ı	
	<u> </u>						ı	
P27P050	I			756				

所属長名

中邑 康高

横江 大輔

整理番号 0253

所属 事務事業番号

令和 6年度 評価年度

手段(どのようなやり方で)

成果(どのような 状態にするのか)

00287

進捗区分 評価完了

2354 消防局警防課

記入者 救急高度化推進事業

⇒ / / → / / → / → / → / → / → / → / → / 	权忌向及化推進争未							
【基本情報】								
総合計画	03 大津市総合計画 第							
基本方針			きる活力のあるまちを創	ります				
基本政策	009 安心、安全に暮らる		₹ちにします -					
施策	023 消防・救急体制の3							
取組の方向性	002 救急救命体制の充乳							
事務事業	001 救急高度化推進事業	業						
運営方法	直営							
評価区分	対象	主な取組区分	対象					
					T			
根拠法令等	消防組織法 消防	方法	救急救命士法	•				
	(事業概要)							
1	救急業務に対する市民ニー	-ズが多様化する	なか、指示医療機関でな	ある3病院と連携し	して平成28年度から派遣			
	型救急ワークステーション(以下「WS」という。)を本格運用し、救急救命士を含む救急隊員の応急処置等に							
	ついて医学的な質の保証を図るなど、救急業務の高度化を推進している。また、新規救急救命士の養成及び救急							
事業概要	救命士が高度な処置を行うための研修への派遣、並びにメディカルコントロール体制の充実強化を図っている。							
			Z(Z) ,					
	(事業を取りまく社会環境)							
	超高齢社会にあって、救急	9 業務に対する市	民ニーズが多様化・複数	進化1. 救急出動7	B 7 『傷病者搬送件数が増加			
	傾向にある。	**************************************	N- 7.0 5 18 10 12 1	# 10 C 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	X O M I MX Z II XX Y CO.			
事業を取りまく社会	(見直しや改善等の経過)							
│ 事未と取りよく社会 │ 環境とこれまでの見直し		う数命士の教育を	行うとともに WSに、	上ス数急救命士や#	数急隊員の研修体制を改善			
境境とこれよくの元直し	相等が応放叩工によるが応	がいていがりら	11) [[[[[[[[[[[[[[[[[[トの状心が明エトか	次心体員の別で作門で以口			
	C C C C C C C C C C C C C C C C C C C							
【事業分析】								
対象(何又は誰を)	①掛色咲呂太							
対象(阿乂は誰を)	①救急隊員を							
	②救急救命士を							
	15 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5		1 .1					
目的(何のために)	傷病者の救命率・社会復帰							
	傷病者の後遺症の軽減、容	≩態の悪化防止の	ため					

【コスト】 (単位:千円)

①WSへ派遣又は救急救命士養成所へ派遣し、新規救急救命士を養成することにより

②WSへ派遣又は薬剤投与や気管挿管等の高度な処置を行うための追加研修に派遣することにより

者の救命率を向上させる。加えて、119番通報時の口頭指導体制の強化と事後検証体制の強化を図る。

早期に質の高い救命処置を行える体制が築け、傷病者の後遺症軽減と容態悪化を防ぐとともに、心肺停止傷病

L =	1人ト】							(単位:十円)
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
١-	-タルコスト	373, 080	373, 283	373, 719	374, 005	374, 005	374, 005	374, 005
	事業費	10, 380	10, 583	11, 019	11, 305	11, 305	11, 305	11, 305
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	10, 380	10, 583	11, 019	11, 305	11, 305	11, 305	11, 305
	人件費計	362, 700	362, 700	362, 700	362, 700	362, 700	362, 700	362, 700
	事務・技術(人)	46. 50	46. 50	46. 50	46. 50	46. 50	46. 50	46. 50
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

評価完了

整理番号 0253

評価年度 令和 6年度 進捗区分

所属 2354 消防局警防課 事務事業番号 00287 救急高度化推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-36-00-01-00	救急高度化推進事業費	消防局消防総務課

【定量評価】	•						上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 救急救命士数	1	87. 00	89. 00	89. 00	88. 00	88. 00	88. 00	88. 00
	^	86. 00	88. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)気管挿管、アド		68. 00	73. 00	78. 00	81.00	84. 00	84. 00	84. 00
レナリン投与等が実施 できる救急救命士数	^	68. 00	72. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00
(成果)救命率(心原性 かつ目撃があった症例	%	16. 70	10. 70	10. 70	10. 70	10. 70	10. 70	10. 70
の1か月生存率)	70	19. 00	12. 20	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)高度救命処置実	件	600. 00	600. 00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00
施数	1+	662. 00	602. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			O	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{\vdash}$
			Δ	妥当ではない	
	評価理由	消防機関が救急業務の質の)担保 ⁹	等を行うのは妥当である。	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	_
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	C	あまり上がっていない	\boldsymbol{H}
			Δ	上がっていない	
	評価理由	救命率は目標値を上回り、	救命	本制の高度化は継続している。	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			C	あまり効率的でない	\boldsymbol{A}
				効率的でない	
	評価理由	計画的に研修派遣を行い、	病院	実習はWSで効果的に実施できてい	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			C	あまり貢献していない	\boldsymbol{A}
			Δ	貢献していない	
	評価理由	高度救命処置が行える救命	う士を き	養成し体制の充実が進んでいる。	
	評価理由		·		

【所属評価結果】
総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持 今後、定年退職等により現場で活動する救急救命士の人員が減少するため、新規救急救命士の計画的な養成と 高度な救命処置が実施できる救急救命士を継続して養成する必要がある。また、派遣型救急ワークステーション 等を通じて、病態判断と処置技術がより向上できるよう教育していく。 (400文字)

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
10 11 11		7 7 7 7 7 7 7 7 7	20 2 1 1 1 2 2
	増加する救急需要に対応し救命率を向」	こするためには、新規救急救命	士の養成をはじめ、高度な救命処置(気
	管挿菅、薬剤投与等)が実施できる認定権	枚急救命士の養成は不可欠であ	るため、先を見据えた計画的な養成を図
	っていく。また、複雑、多様化する救急事	[案に対応するため、生涯教育	を通じて質の向上を図るとともに、救急
部局コメント	救命士を含む全救急隊員の教育体制を充実		
	次即工と自己工法心体質の教育性則と元人	CIAIDCECOTO	
(400文字)			

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 2354 消防局警防課

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 00287 救急高度化推進事業 上段:目標値 下段:実績値

事務事業番号 00287 七冊名		高度化推進事業	人和《左 库	△和 7左曲	△和 0左曲	△和 ○左曲	上段:日標個	ト段:美積個
指標名 (活動)救急救命士数	<u>単位</u> 人	<u>令和 5年度</u> 87.00	<u> </u>	令和 7年度 89.00	令和 8年度 88.00	<u>令和 9年度</u> 88.00	令和10年度 88.00	令和11年度 88.00
	へ 指標説明	86.00	88.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00	0. 00
	拍标就明	救急救命士の総	釵					
(活動)気管挿管、アド レナリン投与等が実施	人	68. 00 68. 00	73. 00 72. 00	78. 00 0. 00	81. 00 0. 00	84. 00 0. 00	84. 00 0. 00	84. 00 0. 00
できる救急救命士数	指標説明	気管挿管、アド	<u> </u>	<u> </u>	型 0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)救命率(心原性		16. 70	10. 70	10. 70	10. 70	10. 70	10. 70	10. 70
かつ目撃があった症例	%	19.00	12. 20	0.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00
の1か月生存率)	指標説明	R6年度以降の目標	標値は、R3~4の	全国平均値とすん	る。			
(成果)高度救命処置実	件	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600. 00
施数	指標説明	662.00	602.00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0.00
	拍标就明	心肌停止肠枘在。	及び心脈停止削り	韭及傷枘白I⊂刈 9	る高度救命処置	夫旭延へ 数		
				1			1	
				1	_			
				1				
				1	1		<u> </u>	
							L	
				T	T			
				<u>l</u>	<u> </u>			
					_			
				•	•		•	
				<u> </u>	1			
				T	1	<u> </u>		
				<u> </u>	<u> </u>			
		1					I	
				<u> </u>				
				1	1			
				1	1			
				1				
IP27P050								
11 4/1 000				750				

整理番号 0254

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 所属長名 中邑 康高 2354 消防局警防課 記入者 横江 大輔 所属

事務事業番号 02066 救急業務事業

【基本情報】

【基本情報】								
総合計画	03 大津市総合計画	第2期実行計画						
基本方針	003 安心、快適に住	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります						
基本政策	009 安心、安全に暮	らすことのできるま	きちにします					
施策	023 消防・救急体制	の充実						
取組の方向性	002 救急救命体制の	002 救急救命体制の充実						
事務事業	002 救急業務事業							
運営方法	直営		•		-			
評価区分	対象	主な取組区分	対象外					
根拠法令等	消防組織法	消防法			•			
	(事業概要)							
	多様化する市民ニーズ	こ的確に対応するた	め、救急活動資器	材の整備をはじめ、	市民による応急手当の実	施率		
	の向上を目的に、救命講習	習をはじめとする応	急手当の普及啓発	を推進する。				
声								
事業概要								
	(事業を取りまく社会環境	<u>(</u>						
	救急件数が増加傾向にで	あり、救急資器材や	医療用酸素等の消	耗品需要が急増して	ている。さらに、医療用資料	器材		
	価格が上昇している。							
事業を取りまく社会	(見直しや改善等の経過)							
環境とこれまでの見直し	適切な救命処置の実施な	や市民応急処置の普	及を図るため、資	器材品目の見直し	等による調達の合理化を進	めて		
	いる。							
【事業分析】								

	事	1	Ě	5	t	材	f	1	

L チ 木 ハ 'ハ 1	
対象(何又は誰を)	① 救急資器材等の装備及び消耗品を ② 小学校高学年から成人まで市民を対象としたAEDの使用方法を含む応急手当講習を
目的(何のために)	① 超高齢社会の進展による救急要請の増加に対応するため ② 心肺停止傷病者の救命率の向上を図るため
手段(どのようなやり方で)	① 年次的に整備・充実させることにより ② 積極的に学校や市民団体等へ普及し
成果(どのような 状態にするのか)	① 市民から信頼される救急活動を実施する。 ② 受講者数を増加させる。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
	タルコスト	207, 981	215, 261	216, 672	218, 767	218, 767	218, 767	218, 767
H.	事業費	8, 847	8, 951	10, 362	12, 457	12, 457	12, 457	12, 457
	国庫支出金	670	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	2, 380	2, 130	2, 720	2, 780	2, 780	2, 780	2, 780
	一般財源	5, 797	6, 821	7, 642	9, 677	9, 677	9, 677	9, 677
7	人件費計	199, 134	206, 310	206, 310	206, 310	206, 310	206, 310	206, 310
	事務・技術(人)	25. 53	26. 45	26. 45	26. 45	26. 45	26. 45	26. 45
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
4	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0254

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 2354 消防局警防課 事務事業番号 02066 救急業務事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-49-00-07-00	救急業務費	消防局消防総務課

【定量評価】	•	•	•		•		上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) A E D の使用方 法を含む講習受講者数	ı	4, 300. 00	7, 000. 00	4, 300. 00	4, 300. 00	4, 300. 00	4, 300. 00	4, 300. 00
(場所指定募集)	^	5, 529. 00	4, 573. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)市民による電気	0/	24. 00	24. 00	24. 00	24. 00	24. 00	24. 00	24. 00
ショックの実施率	%	11. 40	29. 40	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00

	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	A
			D	妥当ではない	•
	評価理由	救急業務は法律で市町村美	業務と7	なっており妥当である	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	_
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	A
			D	上がっていない	•
	評価理由	受講者数は減少したが、市	市民に 。	よる電気ショック実施率が増加した	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	\boldsymbol{A}
				効率的でない	
	評価理由	講習では人形を一人1体月	用意して	て効率的に実施できている	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	\boldsymbol{A}
			D	貢献していない	, ·
	評価理由	市民による電気ショック写	実施率(の増加で貢献している	
	評価理由				

【所属評価結果】
総合評価
計画どおり事業を進めることが適当
事業の方向性
超高齢社会を迎え、自宅や施設等において心肺停止状態となる傷病者が増加すると考えられ、その場に居合わせた市民等による応急手当が救命率に影響するため、応急手当実施率を増やす必要がある。

所属コメント
(400文字)

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	救命率の向上には市民による応急手当実	施率を向上させる必要がある	ため、効率的かつ効果的な救命講習会を
	実施するとともに、増加する救急需要を踏	旨まえた救急車の適正利用につ	いても、救命講習会をはじめとする各種
	講習会や防火指導等を通じて広報に努めて	いく。	
部局コメント			
(400文字)			

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 2354 消防局警防課

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 U2U00		美務事業 	A A	^	A 0	A A	上段:日標個	
指標名	単位	令和 5年度 4,300.00	令和 6年度 7 000 00	<u>令和 7年度</u> 4,300.00	<u> </u>	<u>令和 9年度</u> 4,300.00	令和10年度 4,300.00	令和11年度 4,300.0
た動)A こりの使用力 まを含む講習受講者数	人	5, 529. 00	7, 000. 00 4, 573. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
活動) A E Dの使用方 去を含む講習受講者数 (場所指定募集)	指標説明	令和2~4年度	は新型コロナウィ	′ルス感染症拡大	防止のため、対象	象者を制限してい	た。	
成果)市民による電気		令和7年度以降	は <u>業務の見直しを</u> 24.00	そ行う。 24.00	24.00	24.00	24.00	24. 00
成果) 甲氏による竜丸 /ョックの実施率	%	11. 40	24. 00 29. 40	24. 00 0. 00	24. 00 0. 00	24. 00 0. 00	24. 00 0. 00	0. 00
コップの久心中	指標説明	雷気ショック実	施総数のうち市民	による実施率	0.00	0.00	0.00	0.00
		102111 - 27771	2010000000	V 0 · 0 > 1,0 1				
							Į.	
			-					
		+						
-								
							-	
							ı	
							L	
	<u> </u>							
		1					Т	
							Т	
		1						
	l	1		<u> </u>			L	

整理番号 0255

評価年度 令和 6年度

所属 2354 消防局警

事務事業番号 02096 国際消防救助隊員育成事業

進捗区分 評価完了 消防局警防課 所属長名中邑康高記入者下田明夫

争務争耒留亏 02090	国际用防拟助隊貝目成爭耒								
【基本情報】									
総合計画		THE THE PARTY OF T							
基本方針		003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります							
基本政策		009 安心、安全に暮らすことのできるまちにします							
施策	023 消防・救急体管								
取組の方向性	001 消防力の充実								
事務事業	013 国際消防救助	隊員育成事業							
運営方法	直営								
評価区分	対象	主な取組区分	対象外						
根拠法令等	国際緊急援助隊の派遣に	に関する法律	•	•	•				
	(事業概要)		W RL 14 R R R 4 - 34 A	3 W 94 4 49 1 1 44 91 1	**************************************				
					隊員を被災国に派遣するため				
		団の定める派遣体制を整えている。国際緊急援助活動に必要な教育訓練を実施するよう国の要綱に定められて							
┃ ┃ 事業概要	おり、国際緊急援助活動	めのルールに遵守し知	識及び救助技術の)習得をさせる事業。					
	(事業を取りまく社会環								
	海外でも大規模地震等	芋が頻発し、日本の国	際緊急援助隊救助	カチームの派遣体制のネ	確保及び登録隊員は国際標準				
	の救助技術や知識を備え	えている必要がある。							
事業を取りまく社会	(見直しや改善等の経過)							
環境とこれまでの見直し	登録隊員は原則、任期	朋を4年単位として2	年ごとに半数の隙	貧員を更新している。					
【事業分析】	-								
対象(何又は誰を)	全国77消防本部59	99人のうち、大津市	消防局が登録して	いる国際消防救助隊	員6人を対象に				
			,						

【学术刀彻】	
対象(何又は誰を)	全国77消防本部599人のうち、大津市消防局が登録している国際消防救助隊員6人を対象に
目的(何のために)	日本国政府唯一の救助チームとして、海外で発生した大規模災害に派遣される国際消防救助隊登録隊員に対し、国際的に定められた標準的手法や知識・技術習得のために
手段(どのようなやり方で)	年間教育訓練計画を年度当初に定め、当該計画を実行していく。また、総務省消防庁等が主催する各種教育訓 練へ登録隊員を派遣する
成果(どのような 状態にするのか)	国際標準の救助技術を習得する事により、派遣時に他機関(海上保安庁、警察機関)とスムーズな連携が実施できる。

_								
<u>【コス</u>	< h]							(単位:千円)
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トーク	7ルコスト	19, 908	20, 046	19, 905	19, 905	19, 833	20, 049	19, 97
事	業費	408	546	405	405	333	549	47
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	(
	その他	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	408	546	405	405	333	549	47
人	件費計	19, 500	19, 500	19, 500	19, 500	19, 500	19, 500	19, 50
	事務・技術(人)	2. 50	2. 50	2. 50	2. 50	2. 50	2. 50	2. 5
	技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
	会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 0
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 0
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 0
そ	の他経費	0	0	0	0	0	0	(

評価完了

整理番号 0255

評価年度 令和 6年度 進捗区分

所属 2354 消防局警防課

事務事業番号 02096 国際消防救助隊員育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-38-00-03-00	国際消防救助隊員育成事業費	消防局消防総務課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)年間教育訓練		12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00
	ш	12. 00	4. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)教育訓練実施率	0/	100.00	100. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100. 00
	%	100.00	33. 33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			_					

[定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	\boldsymbol{A}
				妥当ではない	, ,
	評価理由	登録消防本部として派遣体	本制を	整える必要がある	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	
2		ているか	С	あまり上がっていない	
				上がっていない	
	評価理由	各種教育訓練への派遣は写	実施で	きているが、内部訓練回数は不足	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	$\boldsymbol{\vdash}$
			D	効率的でない	
	評価理由	他消防本部と連携し効率的	内に訓練		
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	$\boldsymbol{\vdash}$
			D	貢献していない	2 \
	評価理由	国連機関の認証試験隊員と	としてき	参加し、高い評価を得ている	
ĺ					
1	評価理由				

【所属評価結果】
総合評価
計画どおり事業を進めることが適当
事業の方向性
訓練時における安全管理体制の見直しや再発防止対策に取組み、指標に掲げる訓練回数の目標値を達成できなかった。安全管理体制や訓練内容を見直したなか訓練を計画し、国際消防救助隊登録隊員の国際標準の救助技術や知識、技術等の習得、当市の災害対応活動に還元するとともに、円滑な出動態勢確保に繋げるため訓練を実施していく。

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	大規模災害時における捜索救助活動技術 して知識、技術等の錬磨に努めていく。	は日々変化しており、いつ派	遣要請があっても即応できるよう、継続

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 2354 消防局警防課

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 02096 国際消防救助隊員育成事業 上段:目標値 下段:実績値 指標名 単位 令和 5年度 | 令和 6年度 | 令和 7年度 | 令和 8年度 | 令和 9年度 | 令和10年度 | 令和11年度

事務事業番号 02096	国際消	肖防救助隊員育成	事業				上段:目標値	下段:実績値
指標名 (活動)年間教育訓練	単位	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	令和 8年度 12.00	<u> </u>	令和10年度 10.00	<u> </u>
(活期)平间教育訓練	回	12.00	12.00 4.00	<u>令和 7年度</u> 12.00 0.00	<u>令和 8年度</u> 12.00 0.00	<u>令和 9年度</u> 12.00 0.00	令和10年度 12.00 0.00	令和11年度 12.00 0.00
	指標説明	年間の「訓練回	令和 6年度 12.00 4.00 数」「単位:回」					
(成果)教育訓練実施率					100 00	100 00	100 00	100.00
The second secon	% +5.4m=¥.00	100.00 100.00	100.00 33.33	100. 00 0. 00	100.00 0.00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00	0.00
	指標説明	年間の「訓練実	施率」「単位:%	6]				
			1		1	-		
	<u> </u>		<u> </u>			1	T T	
			<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>			
			T	T				
			T		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
						-		
							•	
							\Box	
					<u> </u>		<u> </u>	
	-							
	<u> </u>							
							Т	
		1	<u> </u>		<u> </u>			
	-		<u> </u>		 		1	
1P27P050	1	1						

令和 7年 9月18日

事務事業評価シート(1/2)

整理番号 0256

評価年度 令和 6年度

進捗区分 2354 消防局警防課 所属

02634

大規模災害活動対応事業

評価完了

所属長名 中邑 康高 記入者 下田 明夫

事務事業番号 【基本情報】

【本个月刊】									
総合計画	03 大津市総合計画	第2期実行計画							
基本方針	003 安心、快適に住み約	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります							
基本政策	009 安心、安全に暮らる	すことのできるま	ちにします						
施策	023 消防・救急体制の3	充実							
取組の方向性	001 消防力の充実								
事務事業	012 大規模災害活動対応	芯事業							
運営方法	直営			•					
評価区分	対象	主な取組区分	対象						
根拠法令等	消防組織法消防	5法	•	•	•				
事業概要	(事業概要) 激甚化・頻発化・広域化す する必要がある。これら災害 ため、消防活動資機材全般の	まから市民の生命	、身体及び財産を保護する						
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 激甚化・頻発化・広域化す (見直しや改善等の経過) 消防活動全般の資機材にご				18.				

	1111		
1 生	포스	.> t⊪ 1	

対象(何又は誰を)	災害活動時に使用する活動資機材や保安資機材などを
目的(何のために)	激甚化・頻発化・広域化する災害の被害を軽減し、市民の生命、身体及び財産を保護するため
手段(どのようなやり方で)	中長期計画を基にした更新整備を進める一方で、災害ニーズに即応できるよう、消防・救急・救助の枠にとら われることなく、災害現場活動に必要な資機材整備費を集約することで
成果(どのような 状態にするのか)	安全、確実、迅速な救出救護活動と、活動隊員の二次災害防止、負担軽減が図られ、市民の安心、安全な暮ら しを確保する。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータ	ルコスト	148, 785	139, 403	157, 494	160, 997	160, 997	160, 997	160, 997
事業	美費	17, 805	9, 543	24, 894	28, 397	28, 397	28, 397	28, 397
	国庫支出金	0	2, 282	7, 630	350	2, 050	0	0
	県支出金	0	53	0	71	0	71	0
[地方債	0	1, 976	6, 600	0	0	0	0
I I F	その他	0	53	0	71	0	71	0
F	一般財源	17, 805	5, 179	10, 664	27, 905	26, 347	28, 255	28, 397
人件	- 費計	130, 980	129, 860	132, 600	132, 600	132, 600	132, 600	132, 600
[事務・技術(人)	16. 50	16. 50	17. 00	17. 00	17. 00	17. 00	17. 00
[技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0. 40	0. 20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
[会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
その)他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0256

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 2354 消防局警防課

事務事業番号 02634 大規模災害活動対応事業

【関連予算情報】

	04-00 大	:規模災害活動対応事業發	費		消防局	消防総務課		
【定量評価】					t		上段:目標値	直 下段:実績
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
舌動)消防用活動資機		9. 00	8. 00	8.00	8. 00	8. 00	8.00	8.
更新件数(リース契	件	8. 00	6. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.
l、備品契約数) 成果)消防用活動資機		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
更新率	%							
		88. 00	75. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0
定性評価】	•							
評価項目		評価の観点	, Δ 1 22 1	ヒズセス	基準			評価
妥当性		実施主体又は手段は妥当か		当である ぎ妥当である				Λ
			C あま	まり妥当ではない				$\boldsymbol{\mathcal{A}}$
=T /T TD -		NICEL ACTIVITY		当ではない				
評価理由 有効性		消防組織法により、市 事業分析の「成果」欄		壬を負っている <u></u> バっている				
有劝注		事業分析の「成未」 (標本) に記載の成果は上がっ		と上がっている				Λ
		ているか		より上がっていな	ر،			А
				がっていない	_			
評価理由 効率性		一部更新を1年延期し 事業手法は効率的であ			る。			
刘平 注		事未于法は効率的であ るか		A 効率的である B やや効率的である				
				より効率的でない				A
				室的でない				
評価理由		的確な活動と隊員の安						
施策への貢献度		施策目標の達成に貢献 しているか		ぱしている o貢献している				Λ
, l		0 0 0 0 0 0		より貢献していな まり貢献していな	l,			А
				状していない				<i>,</i> ,
評価理由		大規模災害の備えは市	民の安心安全	こ繋がる				
			 					
評価理由								
所属評価結果】		11年におりまままから	フェレジェル	すやのナム	- h4-	TFI JL: 6# ++		
合評価		計画どおり事業を進め	つってか週当	事業の方向	Π±	現状維持		
		消防活動資機材の整		、効果的・効率的	に予算を執行す	るためにも、長期	期的な視点で活動	動資機材の
		更新を進めていく必要	:いのる。					
属コメント								
400文字)								
部局評価結果】								
<u> </u>		計画どおり事業を進め	ることが適当	事業の方向	性	現状維持		
					_ ,			
		自然災害をはじめと	する大規模災害	害に即応できるよ	う、年次計画的	に災害ニーズに「	芯じた活動資機	材の更新整
		自然災害をはじめと 備を図っていく。	する大規模災害	害に即応できるよ	う、年次計画的	に災害ニーズにん	芯じた活動資機	材の更新整

(400文字)

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 2354 消防局警防課

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画 事務事業番号 02634 大規模災害活動対応事業 上段:目標値 下段:実績値 指標名 (活動)消防用活動資機 材更新件数(リース契 約、備品契約数) <u>令和 5年度</u> 9.00
 令和 7年度
 令和 8年度

 8.00
 8.00

 0.00
 0.00
 令和 9年度 8.00 令和10年度 8.00 令和11年度 8.00 単位 0.00 0.00 0.00 8.00 6.00 指標説明 リース契約、50万円以上備品契約数 「単位:件」 (成果)消防用活動資機 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 % 0.00 材更新率 88.00 75.00 0.00 0.00 0.00 0.00 指標説明 契約率 「単位:%」

整理番号 0257

所属 事務事業番号

評価年度 令和 6年度

口 6年度 進捗区分 評価完了

2355 消防局通信指令課 00274 通信指令業務事業 所属長名 佐山 佳克 記入者 杉原 武則

	自由日本初于木						
【基本情報】							
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画						
基本方針	003 安心、快適に住み網	売けることのでき	る活力のあるまちを創り	ます			
基本政策	009 安心、安全に暮らす	<u> </u>	ちにします				
施策	023 消防・救急体制の3	主义 美工					
取組の方向性	001 消防力の充実						
事務事業	002 通信指令業務事業						
運営方法	直営						
評価区分	対象	主な取組区分	対象				
根拠法令等	消防組織法、消防法						
事業概要	(事業概要) 高機能消防指令システム、 活用し、迅速、的確に出動指						
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 災害は激甚化・頻発化・広 通信機器等の有効活用、適正 (見直しや改善等の経過) 119番通報時から出動指 向上を図ると共に、市民に対	管理など、高度 令に要する時間	で迅速・確実な通信指令 短縮を目指し、通報受信i	業務の推進が必要 ^を 川練等を実施し職員	である。 員の指令管制対応能力の		

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	市民からの119番緊急通報に対し
目的(何のために)	災害による被害の軽減と救命率を向上させるため
手段(どのようなやり方で)	高機能消防指令システム、消防救急デジタル無線設備及び消防支援情報システム等の活用を図り
成果(どのような 状態にするのか)	迅速、的確な指令管制業務による情報収集等から、被害の軽減と救命率を向上させる。

コスト】							(単位:千円)
	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
ータルコスト	188, 355	196, 833	206, 769	201, 501	236, 501	236, 501	236, 5
事業費	93, 696	97, 853	103, 889	98, 621	133, 621	133, 621	133, 6
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	
一般財源	93, 696	97, 853	103, 889	98, 621	133, 621	133, 621	133, 6
人件費計	94, 659	98, 980	102, 880	102, 880	102, 880	102, 880	102, 8
事務・技術(人)	11. 50	11. 50	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12.
技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.
再任用(人)	0. 87	1. 60	1.60	1.60	1.60	1. 60	1.
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.
その他経費	0	0	0	0	0	0	

整理番号 0257

評価年度 令和 6年度

和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 2355 消防局通信指令課 事務事業番号 00274 通信指令業務事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-21-00-01-00	通信指令業務費	消防局消防総務課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)火災への出動指 令数(災害真報)	件	0. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
中奴(火音具報)	1+	94. 00	74. 00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 00
(活動)救急への出動指 令数(災害真報)	<i>I</i> #	0. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
中数(火舌具報)	件	20, 795. 00	20, 830. 00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 00
(成果)火災事案入電か ら出動指令までの時間	秒	100. 00	100. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
(119番通報)	የ ን	186. 80	115. 32	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 00
(成果)救急事案入電か	Ŧıls	80. 00	80. 00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
ら出動指令までの時間 (119番通報)	秒	75. 70	78. 11	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	\boldsymbol{A}
			D	妥当ではない	•
	評価理由	法令に基づく市民の安全	寉保を	行う事業である。	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	_
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	\boldsymbol{A}
			D	上がっていない	•
	評価理由	被害の軽減と救命率の向_	Lにつ:	ながっている。	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	\boldsymbol{A}
			D	効率的でない	<i>,</i> .
	評価理由	高機能消防指令システムの	の機能	を有効に活用できていた。	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	\boldsymbol{A}
			D	貢献していない	, ,
	評価理由	的確な指令管制により、袖	皮害の	軽減、救命率の向上に貢献している	
	評価理由				

【所属評価結果】
総合評価
計画どおり事業を進めることが適当
事業の方向性
現状維持
市民からの緊急通報に際して、迅速かつ的確に行う指令管制業務は、行政機関における市民対応の重要な位置づけにある。近年、移動体通信からの通報増加に伴い、正確な位置特定が困難なときや医療相談からの救急要請など指令までに時間を要すことから、救命率や災害被害の軽減に影響を及ぼす可能性がある。これらの課題に対して、計画的に導入してきたDXの効果的な活用やドクターカーをはじめ#7119の運用など関係機関との総合的な体制を構築していくことで、指令管制業務の高度化を図っていく。

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	多様化する119番通報に対して、高機	能消防指令システムを効果的	に運用し、適正に指令管制業務を行い、
	市民の負託に応えていく。		
	また、安全に対する質の高い消防指令管	制業務を目指し、災害による	被害の軽減と救命率の向上を図っていく
部局コメント	0		
(400文字)			

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 2355 消防局通信指令課

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 00274 通信指令業務事業 上段:目標値 下段:実績値

<u> </u>		百つ 美務事業 - 人和「左左	△10 C左座	ᄼᇷᄼᇎᇠ	△和 0左座	△和 0左座	上段:日標他 令和10年度	ト段: 美額個 合知11左曲
指標名 (活動)火災への出動指	単位	令和 5年度 0.00	令和 6年度 0.00	令和 7年度 0.00	<u>令和 8年度</u> 0.00	令和 9年度 0.00	令和10年度 0.00	令和11年度 0.00
令数(災害真報)	件	94.00	74. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	火災出動指令数						
(活動)救急への出動指 令数(災害真報)	件	0. 00 20, 795. 00	0. 00 20, 830. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00
下奴(火古典報/	指標説明	救急出動指令数	20, 630. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)火災事案入電か		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100. 00
ら出動指令までの時間	秒	186. 80	115. 32	0.00	0.00	0.00	0. 00	0.00
(119番通報)	指標説明	災害地点決定、	災害決定、自動隊	ᡬ編成、出動指令	//各時間(秒)			
(成果)救急事案入電か	秒	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80. 00	80.00
ら出動指令までの時間 (119番通報)	指標説明	75.70	78.11 災害決定、自動隊	0.00	0.00	0.00	0. 00	0.00
(119亩远秋)	1日1示武功	火舌地点沃足、	火舌沃足、日期闷	「榊 八	/ 合时间(杉)			
							ı	
			I					
							L.	
						1	Г	
			1					
		1					1	
		1	<u> </u>			1		
	-	1						
			ı					
							•	
							I	
	<u> </u>	<u> </u>						
		1	<u> </u>					
		-	<u> </u>		1	1		
	 							
IP27P050				771				

令和 7年 9月18日

事務事業評価シート(1/2)

安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります

整理番号 0258

総合計画

基本方針

基本政策

事務事業

運堂方法

成果(どのような

状態にするのか)

取組の方向性

施策

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 所属

03

003

009

023

001

003

古台

事務事業番号 【基本情報】

所属長名 佐山 佳克 2355 消防局通信指令課 記入者 杉原 武則 01921 通信機器等整備事業

大津市総合計画 第2期実行計画

消防・救急体制の充実

消防力の充実 通信機器等整備事業

安心、安全に暮らすことのできるまちにします

建呂万法	直宮				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消防組織法、消防法				
事業概要	(事業概要) あらゆる災害から市民の び消防支援情報システム等 もに、情報通信技術の進展	の適正な維持管理	を行うことにより、円滑	で効率的な情報管	
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 近年の災害は、激甚化・ を迅速・的確に行うために (見直しや改善等の経過) 高機能消防指令システム 害の軽減及び救命率の向上	、情報通信機器等の機能を最大限に	の整備に努める必要があ	る。	
【事業分析】	!				
対象(何又は誰を)	指令管制業務に係る各シ	ステム及び情報通	信技術の進展に即した通	信機器を	
目的(何のために)	災害発生時における的確	な情報収集及び指	揮命令系統の伝達機能を	確保するため	
手段(どのようなやり方で)	年次計画的に整備し				

<u> </u>	_							
<u> </u>	スト】							(単位:千円)
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
١-	タルコスト	64, 334	60, 033	556, 138	142, 401	152, 401	142, 401	142, 401
1	事業費	21, 434	17, 133	509, 338	95, 601	105, 601	95, 601	95, 601
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	1, 743	478, 200	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	21, 434	15, 390	31, 138	95, 601	105, 601	95, 601	95, 601
ΙΓ	人件費計	42, 900	42, 900	46, 800	46, 800	46, 800	46, 800	46, 800
	事務・技術(人)	5. 50	5. 50	6.00	6.00	6.00	6.00	6. 00
	技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
-	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

消防隊等への支援情報の提供による効率的な部隊運用により被害の軽減を図る。

整理番号 0258

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 2355 消防局通信指令課 事務事業番号 01921 通信機器等整備事業

【関連予算情報】

【闲连了异阴拟】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-21-00-04-00	通信機器等整備費	消防局消防総務課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)災害への出動指	件	0. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
令件数(災害真報) 		20, 290. 00	21, 169. 00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 00
(成果)入電から出動指	秒	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80. 00
令までの時間(全災害 種別119番通報)		76. 40	79. 32	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】 評価項目 評価の観点 基準 評価 妥当性 実施主体又は手段は妥 妥当である 当か В ほぼ妥当である あまり妥当ではない 妥当ではない D 評価理由 法令に基づく市民の安全確保を行う事業である。 有効性 事業分析の「成果」欄 上がっている やや上がっている に記載の成果は上がっ В ているか あまり上がっていない С ם 上がっていない 評価理由 災害時の的確な情報収集と効果的な情報共有が図れている 効率性 事業手法は効率的であ Α 効率的である るか В やや効率的である С あまり効率的でない D 効率的でない 評価理由 情報収集と情報共有により被害の軽減に効率的である 施策への貢献度 施策目標の達成に貢献 貢献している Α しているか В やや貢献している あまり貢献していない C D 貢献していない 評価理由 情報通信機器の整備は効率的な消防活動を行う上で役割は大きい。

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民の安心・安全を確保するため、迅速 正な維持管理に努め万全を期する。 また、次期消防指令システムの更新整備		

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 2355 消防局通信指令課

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 01921 通信機器等整備事業 上段:目標値 下段:実績値

事務事業番号 01921	通信機	ととなった。					上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	<u> </u>	令和 6年度 0.00	令和 7年度 0.00	令和 8年度 0.00	令和 9年度 0.00	令和10年度 0.00	令和11年度 0.00
(活動)災害への出動指 令件数(災害真報)	件	20, 290, 00	21, 169, 00	0.00	0. 00 0. 00	0.00	0.00	0. 00 0. 00
	指標説明	火災、救急、救	助、警戒、偵察	他				
(成果)入電から出動指 令までの時間(全災害	秒	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
令までの時間(全災害 種別119番通報)	指標説明	76.40	79. 32	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
性別 9	拍标就明	災害地点决定、. 	災告决定、目期限	永編 戍、出 期 指令	/ 合時间(秒)			
				T				
		 		1			Г	
				1			I I	
				1			Г	
				1				
		1						
		ļ		1			,	
	<u> </u>							
		ļ		1			,	
		<u> </u>					<u> </u>	
							•	
				1			I	
							<u> </u>	
		<u> </u>						
IP27P050		-		771				